



お知らせ

移動式充てん車を導入しました。
天然ガススタンドの不具合時の営業継続を目的として、移動式充てん車を導入しました。



天然ガス自動車 導入促進 PR 制度のご紹介について

大阪ガスでは、平成25年度に天然ガス自動車を導入される場合、天然ガス自動車シンボルマーク添付等の適用条件を満たしていただきますと、PR費として1台あたり15万円(税込)をお支払いします。ぜひ、この機会に天然ガス自動車をご導入ください。

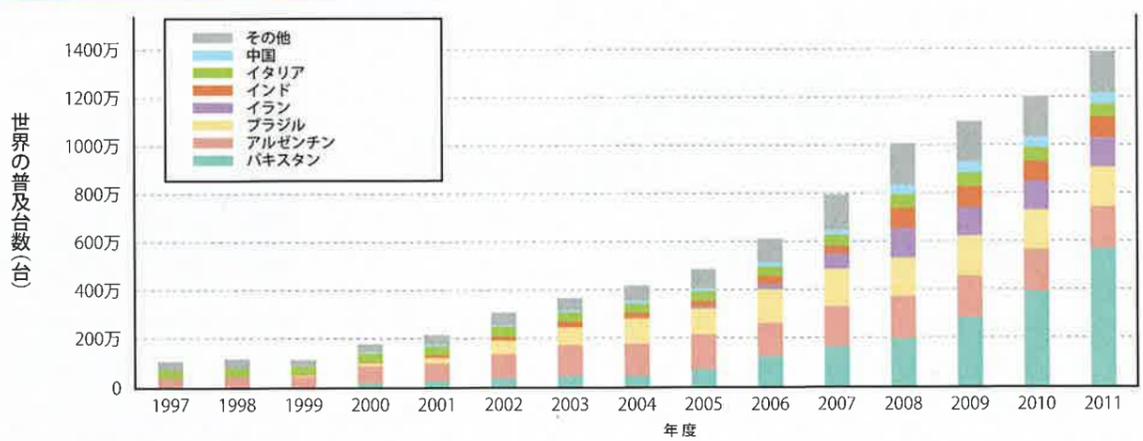
上記支援策の適用条件など詳細はお問い合わせください。

大阪ガス(株)天然ガス自動車推進部 TEL:06-6205-4724

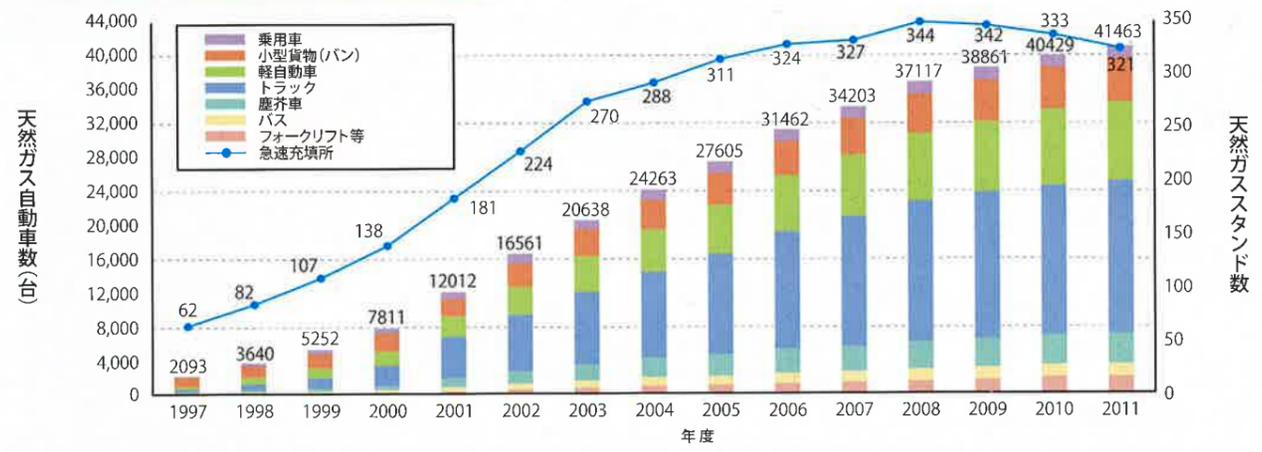
天然ガス自動車普及状況

2011年全世界で合計1450万台の天然ガス自動車が普及しており、毎年100万台以上増加しています。天然ガスの供給安定性・環境性により、輸送用燃料としての導入は世界的に拡大しつつあります。日本ではグラフのように輸送用トラックを中心に導入が進んでいます。

世界における天然ガス自動車普及率



日本における天然ガス自動車普及率



出典:「The Gas Vehicles Report」2012年4月号 ©世界経済のネタ帳 IMF-Primary Commodity Prices

2013年3月
臨時号

NGV
天然ガス自動車
Vol.98

NGV: Natural Gas Vehicle

NGV TODAY

大阪ガス株式会社 天然ガス自動車推進部発行

TOPICS
1

大型天然ガストラック普及へ補助 低炭素・省エネで大型予算

全国の幹線輸送拡大へ

環境省は、低炭素と省エネを切り口として、資源エネルギー対策特別会計から物流分野に総額30億円の大規模予算を2013年度予算概算要求で計上しました。

いずれも国土交通省との連携事業で、トラック事業者が対象の補助事業が多くを占めています。

「中距離貨物輸送分野の低炭素化モデル構築事業」では、中距離輸送の低炭素化モデルを構築するべく、大型天然ガストラックによる東京-大阪など、中距離幹線輸送の実証実験に3区間をモデルとして、車両とスタンド設備の導入費用の2分の1を助成する方針です。

事業は3年間継続する意向で、天然ガストラックを中距離輸送での物流低炭素化のメインモデルに育てるのが目的です。天然ガス車はこれまで小型トラックによる地域内配送で普及してきましたが、二酸化炭素(CO₂)削減率はディーゼルトラックに比べ約18%のCO₂削減効果を見込めるため、ここ数年頭打ちだった天然ガス車導入拡大の起爆剤、更には物流分野での一層のCO₂削減や軽油(石油)一極依存に対するエネルギーセキュリティへの貢献も期待されます。



イメージ図



TOPICS
2

関空クリーン 物流プロジェクトスタート!

近畿スマートエコ・ロジ協議会は、黒煙ゼロ対策の一環として、世界的に普及が進む環境性能の高い天然ガストラックの普及促進を図るべく「関空クリーン物流プロジェクト」を3月1日にスタートしました。

このプロジェクトは関西国際空港発着の航空貨物に着目し、流通に携わる関係者の環境意識を高め、大型天然ガストラックの普及を促進し、環境にやさしいエネルギーへの転換を促す事で関西空港を拠点にしたクリーン物流の展開を図る取り組みです。



「関空クリーン物流プロジェクト」出発式

プロジェクトのスタートとして、関西国際空港にて航空貨物事業者などの天然ガストラックを一堂に集めた出発式が行われました。

式典での、テープカットの後、天然ガストラック車列が近畿各地への天然ガスによる輸送を開始しました。

天然ガストラック導入シンポジウム

シンポジウムでは、来賓、国土交通省自動車局長 武藤氏より、日本が天然ガス自動車の分野では発展途上である点が述べられ、今後都市間幹線輸送が活発化するよう力を入れて行くとお話がありました。その後、基調講演として早稲田大学、恩蔵教授より、海外での代替燃料の普及についての東南アジア圏での天然ガス自動車の普及について説明がなされました。

パネルディスカッションでは、コーディネーターに慶応義塾大学商学部 井手教授を迎え、パネリスト7名により、低炭素化における代替燃料となる天然ガス導入のメリットやデメリットを共有しました。

いち早く天然ガストラックを導入済みの(株)エコトラックの池田取締役は『環境対策によってドライバーが成長し、会社の質が上がる。』という点を強調されました。大阪ガス・久徳常務からは現在の原料調達と安定供給に関する取り組みについて説明がなされました。

また国土交通省近畿運輸局 澤井部長は、日本で天然ガストラック導入が進みにくい原因として認知度の低さがあげられ、国交省としてもハード面だけでなくソフト面のサポートにも取り組んでいくとのご説明がありました。



国土交通省
武藤自動車局長



早稲田大学商学部
恩蔵教授



慶応義塾大学商学部
井手教授



TOPICS
3

富士運輸さまが 大型天然ガストラックを 10台一括導入

航空貨物、郵便輸送を中心に大型トラックで事業拡大する、奈良県最大手の富士運輸(株)様が天然ガストラックによる低炭素物流を荷主へのPRツールとして評価し、大型天然ガストラック10台を今年度一括で採用いただきました。

Q 導入を決めた理由は?

A 天然ガストラックの高い環境性能が、さらなる事業拡大につながります。他社との差別化、競争力アップにより、荷主企業様との関係強化、さらなる受注へと営業の武器にもなります。今後は関西空港黒煙ゼロモデルエリアへの参加などによりさらなる採用をめざします。



松岡社長様

TOPICS
4

速報 大型天然ガス トラックの実証事業

大型天然ガストラックの実証事業の紹介

一般社団法人日本ガス協会では、「大型天然ガストラック普及推進事業」を、平成23年12月から来年3月まで実施しています。日本ガス協会が試作した3台の大型天然ガストラックを、運送事業者で約半年間のモニター運用をいただき、そのデータと運用上の問題点の取得を目的とするものです。

この実証事業によって得られた情報を元に、石油代替エネルギーとして化石燃料の中で最もクリーンな天然ガスを燃料とした大型トラックの普及をめざしています。

双葉運輸株式会社様：岡山県倉敷市～滋賀県東近江市

平成24年10月～平成25年1月の4カ月をかけて、双葉運輸株式会社様(岡山支店)による大型天然ガストラック実証走行を行いました。岡山県倉敷市から滋賀県東近江市までを往復するルート(往復約600km)で、パナホーム社の住宅建築資材を1日1回往復輸送。1運行で2回充填しなければならない点ที่ไม่便であるものの、車両の振動、騒音ともに静かでディーゼル車より有利な点が確認され、低公害性が優れている点を評価いただきました。一方、エンジンに加速力が足りない、重量積載に課題があるとの声もあり、今後の課題も見えました。

将来的には、エネルギー政策による天然ガス車の普及が予測されます。「荷主としてバイオ燃料車や天然ガス車などの活用は物流方針でもあり、今後も天然ガス車に対する国の動きなど、情報を入れていただきたい」と、大型天然ガストラックに期待する声をいただきました。



お知らせ

容器再検査のご案内

天然ガス自動車の燃料容器は、車検とは別に一定期間(初回は4年、以降2年1ヶ月)毎に検査を受ける必要があります。この容器再検査は、容器検査所として登録された自動車整備工場などで検査を受けることができます。下記アドレスで容器再検査工場の一覧をご確認いただけます。

<http://ene.osakagas.co.jp/product/ngv/users/check.html>

※なお、容器再検査の有効期限は、燃料充填口付近に貼られた証票で確認することができます。